

令和5年度 学校評価（生徒・保護者） 自己評価（教職員） まとめ

評価基準 4 「そう思う よくできている」 3 「どちらかというと思う」 2 「どちらかというと思わない」 1 「そう思わない」

保護者アンケート・生徒アンケート			【保護者結果】		【生徒結果】	
領域	No.	評価観点	R4平均	R5平均	R4平均	R5平均
学習指導	1	生徒に配布されている教科シラバス(各教科の目標・学習方法・評価・指導計画)の内容はわかりやすく作成されている。	2.9	<b>2.9</b>	2.9	<b>3.0</b>
	2	学力向上に向けた積極的な取り組みをしている。	2.9	<b>3.0</b>	2.9	<b>2.9</b>
	3	「生徒がわかる授業」、「丁寧な授業」を行うための指導方法を工夫している。	2.8	<b>2.9</b>	2.8	<b>2.8</b>
	4	家庭学習を習慣づけるような指導がおこなわれている。	2.6	<b>2.8</b>	2.6	<b>2.7</b>
	5	各教科の指導の中で効果的にICTの活用がなされている。	2.7	<b>2.9</b>	2.6	<b>2.8</b>
	6	生徒自らが課題を設定し、解決に向けて情報を収集・整理・分析したりさまざまな意見や考えを交えながら進める学習活動の充実が図られている。	2.7	<b>2.9</b>	2.7	<b>2.9</b>
生徒指導・教育相談	7	挨拶・身だしなみ・時間等、基本的生活習慣が身に付くような指導がなされている。	3.1	<b>3.2</b>	3.1	<b>3.2</b>
	8	学校の生徒指導の方針が、生徒・保護者に十分理解され、連携が図られている。	2.7	<b>3.0</b>	2.7	<b>2.9</b>
	9	悩みや問題を抱えている生徒に対して、適切な相談、支援が行われるなど、「いじめ」等の未然防止に努めている。また、問題発生時には適切な対応がされている。	2.8	<b>3.1</b>	2.8	<b>3.0</b>
	10	生徒と教員の共感的な人間関係が構築されている。	2.8	<b>2.9</b>	2.8	<b>3.0</b>
	11	学校と保護者、地域が連携し、効果的な生徒指導が行われている。	2.7	<b>2.8</b>	2.6	<b>2.8</b>
	12	交通安全等、事故の未然防止指導が十分なされている。	3.0	<b>3.1</b>	2.9	<b>3.1</b>
	13	健康・安全・性に関する指導が積極的に行われている。	2.9	<b>3.0</b>	2.9	<b>3.1</b>
	14	生徒の安心・安全を担保できる教育環境づくりに努めている。	2.9	<b>3.0</b>	3.0	<b>3.1</b>
進路指導	15	3年間を見通した進路学習体制のもと生徒の進路意識を高めて、将来の進路を明確にするためキャリア教育に関する指導の充実を図っている。	2.9	<b>3.1</b>	3.0	<b>3.1</b>
	16	生徒の進路実現に向けた放課後指導や講習等の充実を図っている。	3.0	<b>3.1</b>	3.1	<b>3.1</b>
	17	保護者と十分連携を図った進路指導を推進している。	2.8	<b>2.9</b>	2.8	<b>2.9</b>
特別活動	18	学校行事や生徒会活動の活性化に努め、生徒の主体的な参加ができるような体制が作られている。	3.0	<b>3.1</b>	3.0	<b>3.1</b>
	19	部活動と学習の両立が図られるよう指導されている。	2.8	<b>3.0</b>	2.8	<b>3.0</b>
	20	本校の先生は、学校行事や部活動に対して親身になって関わってくれている。	2.9	<b>3.0</b>	3.0	<b>3.1</b>
組織運営	21	保護者や地域への積極的な情報提供(ホームページ等)に努めている。	2.7	<b>2.9</b>	2.8	<b>2.9</b>
	22	学校の課題解決のために教職員が一体となって取り組むことにより学校の信頼は高まっている。	2.7	<b>2.8</b>	2.8	<b>3.0</b>

教職員自己評価						
領域	対象	No.	今年度の目標	目標達成のための評価の観点	R4平均	R5平均
教育活動	学習指導	1	習得・活用・探究のバランスを考えた授業方法・内容の工夫・充実	生徒の理解の程度に応じた授業方法や時間の配分、教材教具の準備などに努めることができたか。	3.2	<b>3.2</b>
		2	主体的対話的な授業を通じて思いや考えを深める学習指導の充実	授業評価の結果を活用した授業の工夫・充実に取り組んだか。	3.0	<b>2.9</b>
		3	1人1台端末を活用した教育活動の充実	各教科等の目標達成に向けたICTの活用を図ることができたか。	2.5	<b>2.8</b>
	生徒指導	4	ルールと時間を遵守する規範意識の高揚	年次と連携し、生徒情報をきめ細かく共有するとともに、声かけ、面談等を通じて、生徒の規範意識等を高めることができたか。	3.0	<b>3.1</b>
		5	他者の人格や個性を尊重する豊かな心の育成	生徒との日々の対話を通じて、マナーやモラル、人権尊重等に関する適切な指導ができたか。	3.2	<b>3.2</b>
	進路指導	6	計画的な進路指導の実施	LHR等を活用した進路学習を計画的・継続的にできたか。	2.7	<b>2.8</b>
		7	進路別指導体制の機能発揮による進路学習の充実	生徒の進路希望実現に向けた放課後指導や講習・添削等が計画的・継続的にできたか。	2.9	<b>2.9</b>
	健康安全指導	8	安全で健康な生活を営むための健康安全指導の充実	自らの健康を考える機会を通じて、健康に対する意識の高揚がみられたか。	2.9	<b>2.9</b>
		9	教育相談・個人面談の充実	全ての教育活動を通じて、自他を大切に教育の充実を図ることができたか。	3.1	<b>3.1</b>
	特別活動	10	生徒の自主性を尊重し、活発な活動の支援	学校祭やスポーツ大会などの生徒会行事や部活動を通じて、生徒に達成感や自己有用感を醸成できたか。	3.2	<b>3.2</b>
		情報メディア	11	利用しやすい環境の維持管理	情報機器等の維持管理は適切にできたか。	3.2
	12		図書館利用促進の取組	授業等において、積極的な活用を促進することができたか。	2.7	<b>2.6</b>
	探究推進	13	課題探究活動の推進	課題探究活動を実践し、主体的・協働的な学習に取り組むことができたか。	2.6	<b>3.1</b>
学校評価等の結果を積極的に活かし、教育活動の改善を図ることができたか。				2.8	<b>2.9</b>	
学校運営	信頼される学校	14	学校評価等を活かした教育活動の充実	学校評価等の結果を積極的に活かし、教育活動の改善を図ることができたか。	2.8	<b>2.9</b>
		15	生徒の取組等の積極的な情報発信	学校教育活動全般について、情報の発信に努めることができたか。	2.8	<b>2.8</b>
	組織運営	16	重点目標の理解と各分掌等の連携、情報の共有化	重点目標や達成のための観点に基づき分掌・年次・教科の今年度の目標や具体的な取組を設定し、実践、評価、修正に積極的に取り組んだか。	2.9	<b>3.0</b>
		17	指導力向上を図る研究や研修の推進	教科、生徒指導力等の向上を図るため、積極的に自己研鑽に努めることができたか。	2.9	<b>3.0</b>
	18	法令遵守と服務規律保持徹底	体罰など不祥事を防止する意識の定着が図られたか。	3.3	<b>3.7</b>	

工夫の方策			
学習指導	1	習得・活用・探究のバランスを考えた授業方法・内容の工夫・充実	課外での個別指導,classi・スタディーサプリの利用案内。生徒個々の能力に応じた授業展開。ICT活用等の情報収集。単元の性質、クラスの特性に応じたグループ学習。プリントなど補助教材の有効活用。クロームブックを利用した地図の活用や語句検索。机間巡視による理解の確認。年次・生徒層・興味関心等を見極めた生徒に合った学習対応。ワークシートの作成、自己評価欄での各自の振り返り。
	2	主体的で対話的な授業を通じて思いや考えを深める学習指導の充実	毎時間授業のポイントを絞った評価。バランスの取れた授業実践。観点別評価のためのプリント等の活用。主体的態度の評価の工夫・改善。ICTの活用。振り返りシート・レポートを介した生徒との意思疎通。教材の時間配分の変更。
	3	1人1台端末を活用した教育活動の充実	Google classroomを利用した資料の掲載、課題や振り返りでの活用の促進。単元毎のまとめにおけるGoogleスライドの活用。パワーポイントを用いた授業展開。画面共有での説明、グラフ描画ソフトの活用。他校の例などを参考にした授業の工夫。グループや対人ペアワークを通したICTの活用。
生徒指導	4	ルールと時間を遵守する規範意識の高揚	日常的な声掛けの励行。生徒情報の共有による生徒への足並みの揃った指導。状況に応じた個別面談の実施。空き時間のフロア巡回。グーグルクラスルームの利用。学校の目指す生徒指導の方向性を再構築。
	5	他者の人格や個性を尊重する豊かな心の育成	生徒との対話を重視した、日常的な指導、声掛けの実践。効果的な年次集会等の実施。教師自らのマナーやモラル遵守。
進路指導	6	進路シラバスによる計画的な進路指導の実施	進路学習のLHR等への再編成。模擬試験や講習等に向けて、進路希望と科目選択を絡めた指導の実施。複数回の個人面談の実施による、生徒一人一人の進路意識の高揚。担任との綿密な連携。進路指導室の活用・促進。
	7	進路別指導体制の機能発揮による進路学習の充実	受験に対応する選択ができる3年次夏期講習の実施。昼休みや放課後を活用した、自己PR方法や面接練習等の実施。生徒の主体的な取り組みを促し、講習や継続した学習が大切であることの継続的な指導。
健康安全指導	8	安全で健康な生活を営むための健康安全指導の充実	猛暑時のジャージ着用と合わせ、ベストの着用などは命に係わる可能性もあることを指導し、生徒の意識改革を進める。生活習慣の見直しや、運動の習慣化の実践。教師の仕事量の適正化。
	9	不登校生徒の相談・指導の充実	日常的な、お互いを尊重する雰囲気作りの促進。効果的な年次集会等の実施。生命・健康に関する日常的で継続的な指導。
特別活動	10	生徒の自主性を尊重し、活発な活動の支援	学校行事における生徒が主体的に取り組む場面を数多くつくる。頑張っていることを褒める指導の奨励。
情報メディア	11	利用しやすい環境の維持管理	管理の方策を再検討。各HRへのプロジェクターの常備。端末の積極的活用。
	12	図書館利用促進の取組	活用の方法の再検討。
探究推進	13	ローカス等を活用した課題探究活動の推進	知識・教養をもっとつけさせた上での探究活動実施。探究推進部による計画的な取り組みとなっており、それに協力するための時間の確保。
信頼される学校	14	授業評価、学校評価等を活かした学校運営の充実	改善にじっくりと時間をかけるための時間の確保（できることならば無駄な業務をもっと減らした上でじっくりと方策を考えていきたい）。マンパワーに頼りすぎており、システマティックになっていない現状の早急な改善。心に余裕を持った上での生徒指導（仕事にメリハリが必要）。
	15	生徒の取組等の積極的な情報発信	研究会での発表。進路通信等の積極的な配信。グーグルクラスルームの活用の促進。毎月の学級通信の発行。
組織運営	16	重点目標の理解と各分掌等の連携、情報の共有化	分掌業務の分析評価。各業務において、課題や問題点の明確化による業務の改善。分掌からの情報発信と、それを受け取って実践していく全体の意識の高揚。
資質向上	17	指導力向上を図る研究や研修の推進	各種セミナー・研修会への参加。若手教職員の見本となるよう先輩教職員の意識の向上を図る。
	18	法令遵守と服務規律保持徹底	アンガーマネジメントを意識した生徒指導。全体の模範となるよう高い倫理意識の高揚を図る。